

修士論文に向けて

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻

M2012MM002

朝倉知也

シナリオ

- 研究概要
- 変更要求モデル
- 変更要求処理プロセス
- Tracked Resource Set
- 変更要求へのアクセス
- 今後の課題
- 参考文献

研究概要

- 題目

- OSLCに基づくソフトウェア変更要求管理方法の提案

- 背景

- ソフトウェアの大規模化, グローバルソフトウェア開発(GSD:Global Software Development)の進展

⇒全開発工程で発生するソフトウェア変更要求の管理が困難

- 着目する課題と解決法

- 統一的な変更要求の表現が存在せず, 様々な表現が混在
- ⇒変更要求モデルの定義

- Webを介した管理方法が未確立

⇒OSLC(Open Services for Lifecycle Collaboration)に基づく管理

- 期待効果

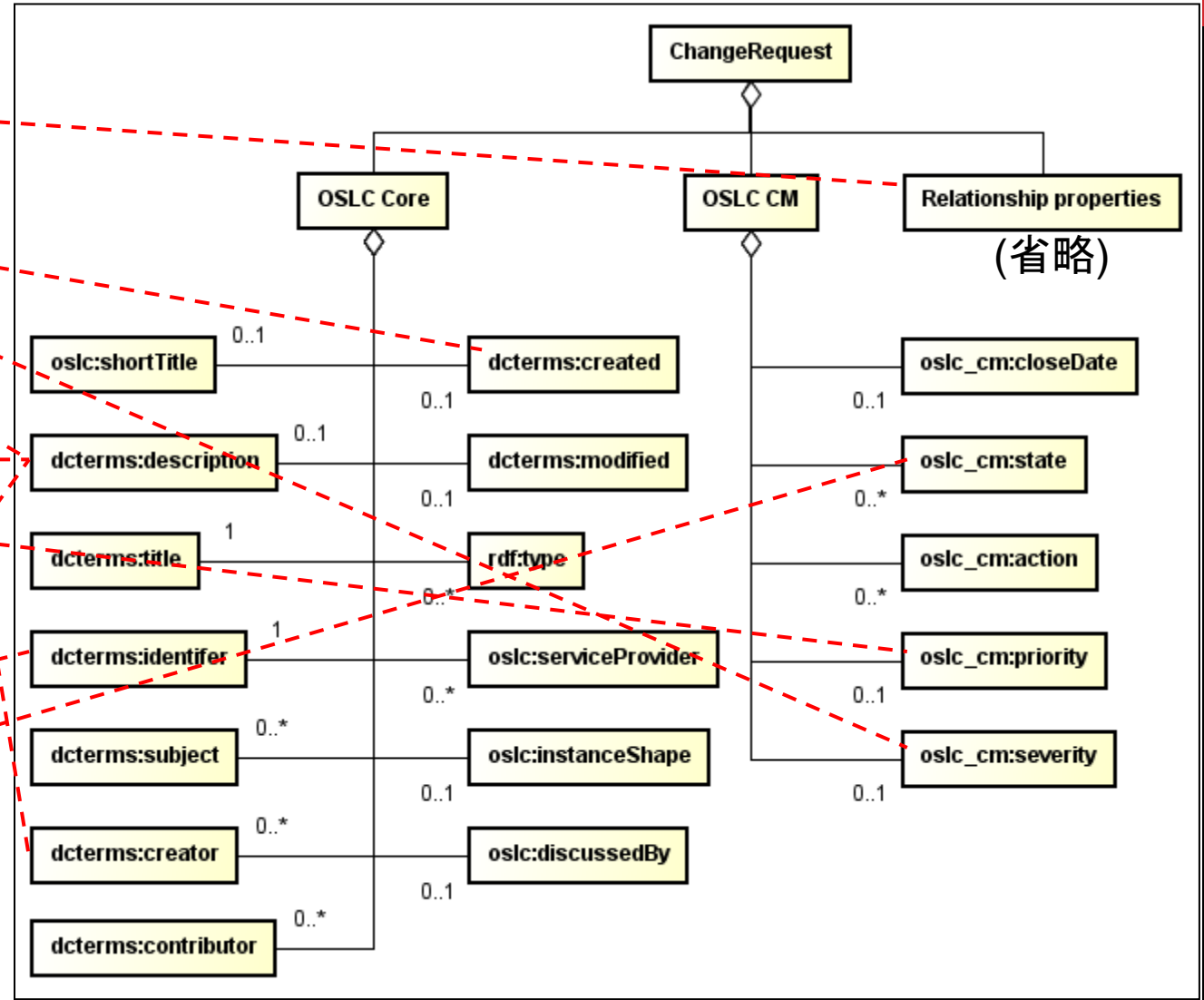
- 大規模GSDにおける変更要求の統一的な管理
- 変更要求に対するトレーサビリティの確保, 影響範囲の明確化

変更要求モデル

IEEE Std. 828-2005

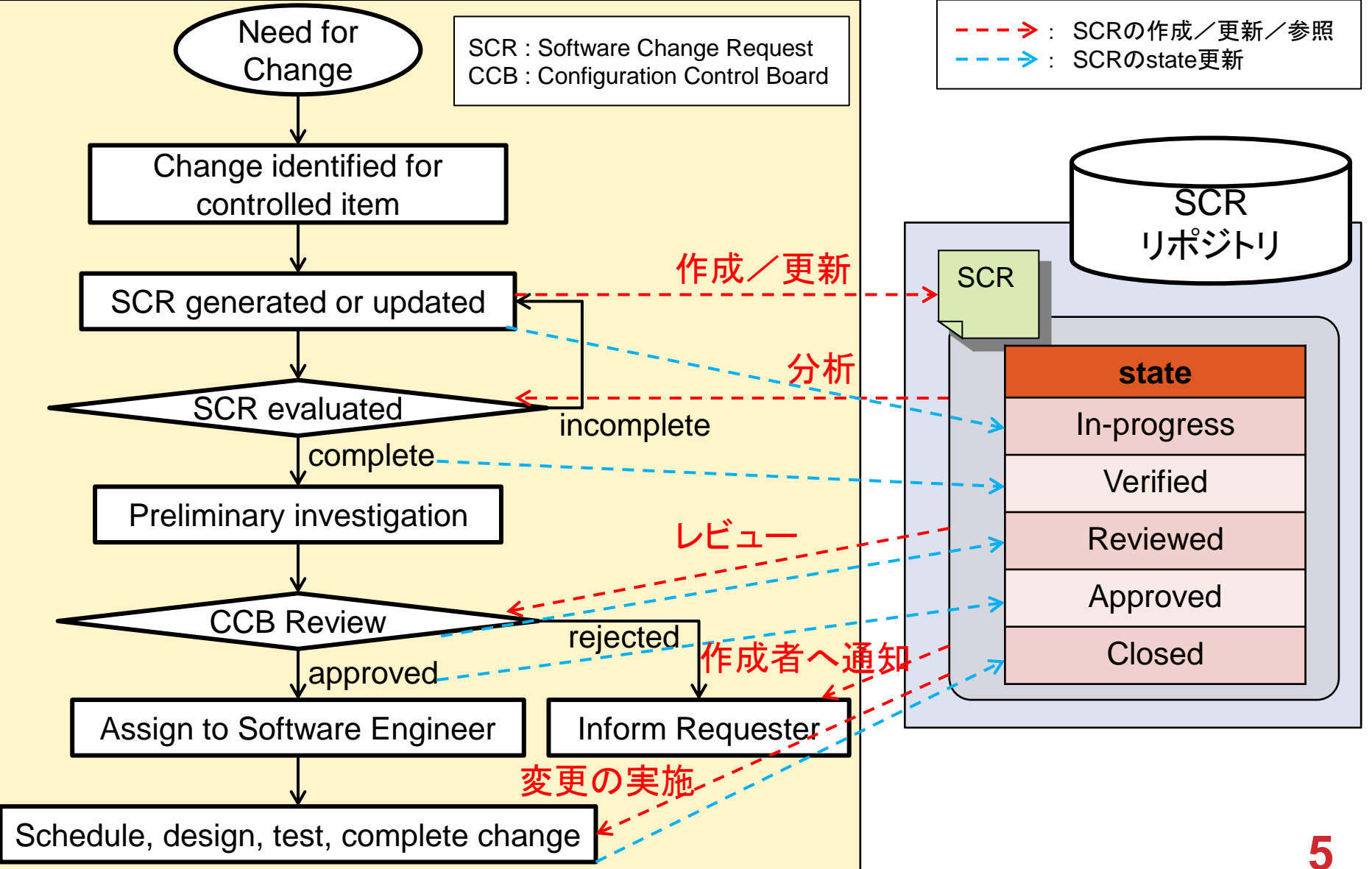
OSLC ChangeRequest Model (spec 3.0)

要素
対象リソース
作成者
作成日
緊急性
必要性
説明
優先度
分類
変更要求の番号
変更要求の状態



変更要求処理プロセス

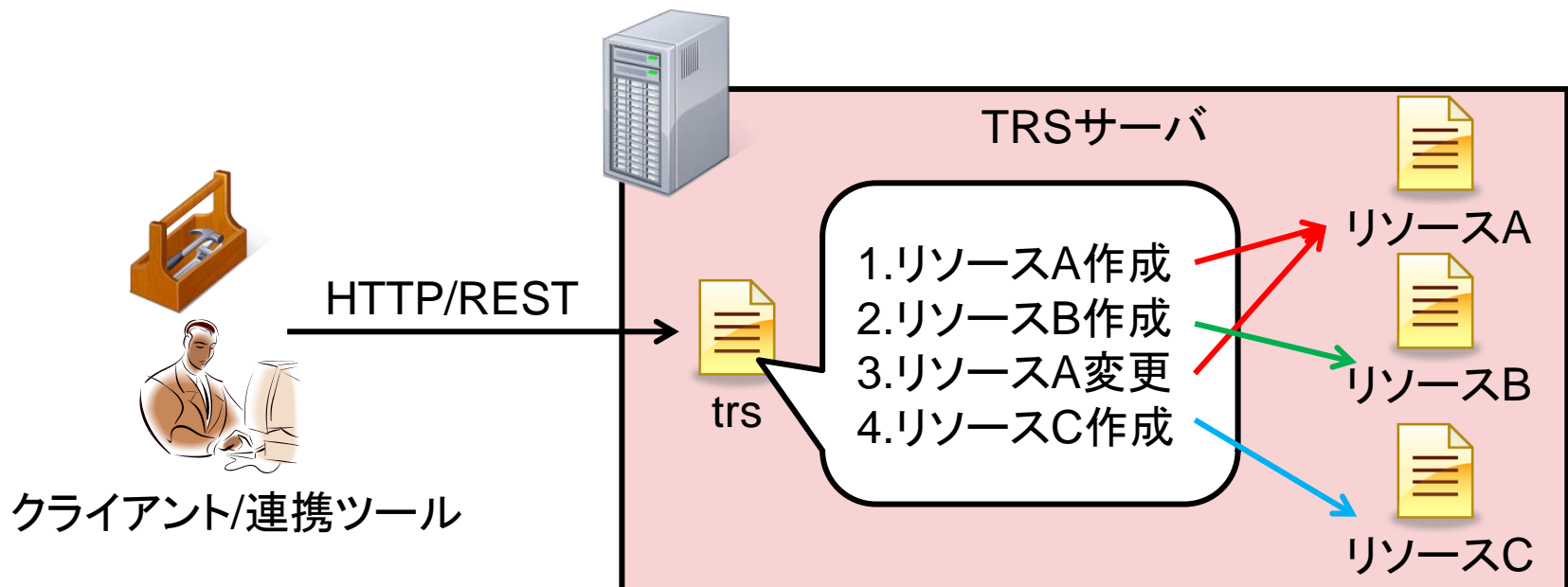
Flow of a Change Control Process (SWEBOK Chapter7:SCM)



Tracked Resource Set

- Tracked Resource Set (TRS)

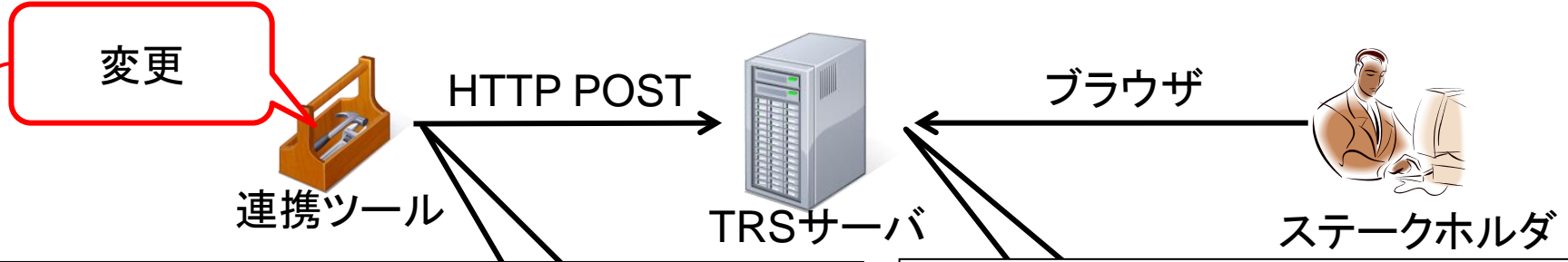
- 対象リソースの生成, 更新, 削除を時系列で管理
- OSLCが制定
 - ✓ RESTful
 - ✓ 他ツールから連携可能
- 発生した変更のベースライン(マイナーリビジョン)を確保



TRSリソースへのアクセス

- リソースの作成

- 変更は連携ツールや全てのステークホルダから作成
 - ✓ 連携ツールからの作成 (HTTP POST)
 - ✓ ステークホルダがブラウザから直接作成



[-] Request

Method URL

Headers

Content-Type: application/x-www-...

Body

Title:

Description:

Filed Against:

今後の予定

- (1)変更要求モデルを実際にプロセスに沿って処理
 - モデル, プロパティの検証
- (2)SCRリポジトリとTRSの関係
 - SCRは変更要求, TRSは変更(結果)を管理
 - ✓ 両者のリンクをどのようにするか？

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
(1),(2)						
1	2	3	4	5	6	7
(1),(2)						

参考文献

- Project Management Institute, プロジェクトマネジメント知識体系ガイド, 第4版, PMI, 2008.
- IEEE Std. 828-2005, IEEE Standard for Software Configuration Management Plans, IEEE, 2005.
- IEEE Computer Society, Software Engineering Body of Knowledge (SWEBOK), 2013, <http://www.computer.org/portal/web/swebok> .
- OSLC-CM, Open Services for Lifecycle Collaboration – Change Management, February 28, 2013, <http://open-services.net/wiki/change-management/> .
- OSLC-TRS, Open Services for Lifecycle Collaboration – TrackedResourceSet, June 27, 2013, <http://open-services.net/wiki/core/TrackedResourceSet-2.0/> .

修士論文に向けて END

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻

M2012MM002

朝倉知也